



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」 令和3年(2021年)4月26日

国立二小だより

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

未来につなごう芝生への思い

校長 小林 理人

爽やかな風が新緑の芝生を吹き抜けます。フカフカの芝生で子供たちの笑顔があふれています。コロナ禍の学校生活に不安や戸惑いもあった子供たちですが、保護者や地域の皆様の支えにより、新しい学年への希望が膨らみ始めているようです。コロナ禍による国や東京都の方針等により、多くの制限がある中で、朝の登校の見守りや保護者会への出席、年度初めの諸手続きなど、ご協力いただいたことに心から感謝申し上げます。

芝生の校庭への思い

今年の1年生を迎える会はテレビ放送で行いました。2年生がかわいい後輩のためにつくったメダルをプレゼントしたり、各学年の代表が1年生にお祝いの気持ちを伝えたりと心のこもった素敵な会になりました。その中で、6年生の代表が「二小の校庭は芝生です。転んでも痛くありません。芝生の上で楽しく遊びましょう。」と呼びかけました。

また、昨年度実施した「70周年ゆるキャラづくり」でも芝生をモチーフにした作品がたくさん誕生しました。右は現4年生の児童がつくった「かめしばくん」です。この児童は「大好きなカメと芝生をいつまでも残したい。」という気持ちを込めてこのデザインを考えたコメントに記されていました。



4年生児童の作品

校庭芝生の誕生

二小の校庭が芝生化されたのは平成26年(2014年)です。夏休み前から工事が始まり約3ヶ月で完成しました。そして、9月20日(土)には当時の市長や校庭の芝生化に関わった多くの方々、保護者や地域の皆様をお招きし、芝生校庭完成セレモニーを開きました。セレモニーでは6年生が二松ソーランを披露したり金管バンドの演奏を行ったりして完成を祝いました。

そして、その時に4年生が中心となってつくったスローガンがあります。

「未来につなごう みんなの思い 二小の伝統」です。当時の子供たちや芝生校庭の誕生に関わった方々の気持ちを言葉に表しました。芝生の上で元気いっぱい遊ぶ子供たちや、芝生のことを誇らしげに紹介する子供たちの姿を見ていると、当時の子供たちの思いが二小の伝統として今につながっていることを感じます。

芝生への思いを未来につなぐために

芝生の校庭完成から7年目を迎えます。大切に使う子供たちや、維持管理にご協力いただいている保護者、地域の皆様、諸団体の皆様等のご支援とご協力でも今年も非常に良い状態です。

本校の芝生はティフトン芝という品種で気温が20℃を越えると活性化し、生育が進みます。そこで、芝刈り等の維持管理作業を6月から運動会までの間、PTA芝生隊の皆様や地域ボランティアの皆様、関連スポーツ団体の皆様のご協力のもと行っています。子供たちの思いを未来につなぐためにご尽力いただいている皆様はこの場を借りて感謝申し上げます。

そして、芝生を大切にする子供たちや私たちの思いを未来につなぐために「エアレーション」(芝生の生育を促進させる作業)を地域、保護者の皆様と教職員、子供たちにも声をかけて行います。詳しくは、ホームページに掲載したチラシをご覧ください。